

# よりみち散歩のお誘い

コロナボックルは野外保育の団体です。つくばの街中、リュックひとつで子どもたちと歩きます。

コロナを始めた30数年前に比べると、つくば市内の原っぱや雑木林はすいぶん減りました。それでも木立をくぐればクワの実やヤマモモ、みずみずしい花やきのこ、いろいろなお宝、ポケットに入りきれないドングリが見つかります。

外では行ってみないと何かが始まるかわからない。といっても、その日の風にも遊んでもらったり、落ちていた石がお宝になったり…。こういうものは家では用意できない、外へ出て来て初めて味わえるものです。

牛乳パックで作った  
“おさんぽポーチ” 持って出発！  
見つけたお宝はここに。  
「そんなもの拾っちゃダメ！」って  
いわないで、しばらく置いて  
あげてね。



ロープがあれば、人カエシペーターや綱引き、暑い日の袋シヤワ…。ささやかな遊びがはじまって、また元に戻して帰ります。でもこれを3、4年続けていくと五感で学んだものが積みあがって、知恵になっていくように思います。

ひとつの公園でお店屋さんや家族ごっこが長く繰り広げられることもあります。「ゴソタの丘」には大きな砂場があります。砂と水の、何がそんなに子どもたちを引きつけるのでしょうか。それそれのまなざしの先を見ていくと、絶えず変化する泥の川

や流れそうな虫が…。

それから前にいる誰かの手元をじーと見つめるまなざし。

そして周りには、今日この場に連れ出してくれた人達のまなざしがあります。何かゆったり気分になるなあ、君たちを見ているだけで。

未知の場所もいいけれど、通い慣れた“MY遊び場”で、安心して遊べることも大事ななと思います。

